

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 アルファグループ株式会社

コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上 岳史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 西原 哲司

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,558	3.4	175	△20.7	178	△20.4	92	△44.5
23年3月期第2四半期	10,207	△3.1	221	△13.8	224	△14.5	167	9.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 92百万円 (△45.9%) 23年3月期第2四半期 170百万円 (17.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3,137.93	3,137.18
23年3月期第2四半期	5,657.44	5,655.33

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
24年3月期第2四半期	4,922		2,554		51.9	86,455.11		
23年3月期	4,842		2,505		51.7	84,801.34		

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,554百万円 23年3月期 2,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	1.7	350	△12.4	352	△20.8	194	△37.5	6,565.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	30,972 株	23年3月期	30,972 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,425 株	23年3月期	1,425 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	29,547 株	23年3月期2Q	29,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における我が国の経済は、東日本大震災からの復旧・復興が徐々に進んでいるものの、震災前の水準までは回復せず、雇用情勢、個人消費は依然として低迷し、更に歴史的な円高を背景にして、輸出産業を中心に生産拠点等の海外移転による国内産業空洞化の懸念が増大するなど、厳しい状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業、その他事業の各事業において、既存事業の販路拡大に努め堅調に推移したものの、水宅配事業におきましては、東日本大震災の影響から「ウォーターサーバー」の供給の遅れが予測を上回り、新規顧客獲得に支障が生じ投資に遅れが発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高105億58百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益1億75百万円（前年同四半期比20.7%減）、経常利益1億78百万円（前年同四半期比20.4%減）となり、四半期純利益92百万円（前年同四半期比44.5%減）となりました。

② セグメント情報

<モバイル事業>

モバイル事業におきましては、社団法人電気通信事業者協会推計による当第2四半期連結累計期間における携帯電話加入契約数は、平成23年9月末で1億2,312万件と、平成23年3月末より約359万件増加しました。キャリア別純増数では、平成23年3月末よりNTTドコモ約98万件（純増シェア27.4%）、au約65万件（純増シェア18.4%）、ソフトバンク約148万件（純増シェア41.5%）、イー・モバイル約46万件（純増シェア12.8%）となりました。

このような中、販売台数の増加を主目的として、引き続き高いシェアを占める関東圏に注力し、積極的に新規出店に努めると共に、将来の安定収益の確保および売れ筋端末の確保のため、販売店支援に注力してまいりました。

また、当社系列の携帯電話販売店舗のブランドを一つに結集し、スケール感をもってブランドの拡大を図るため、新たな店舗ブランド「モバワン」を誕生させ、看板の統一化および新規出店を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は74億67百万円（前年同四半期比12.5%増）、営業利益1億45百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

<オフィスサプライ事業>

オフィスサプライ事業におきましては、依然として引き続き企業のコスト節減意識は高く、オフィス文具用品の買い控え等の影響を受け、厳しい状況が続いている中、更に東日本大震災の影響を受け、東日本エリア（北海道・東北・関東）の「獲得件数」および「稼働顧客数」の減少を予想しておりましたが、必要な商品を適時に購入・調達することが可能なインターネットショッピングの強みが再確認されたことから、予想に反して需要の落ち込みは僅少に留まりました。

また、前年に引き続き当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客の獲得と既存顧客への継続利用の促進に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は30億9百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益52百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

<IT事業>

IT事業におきましては、既存顧客への業務の最適化を押し進め、安定的な収益を確保する体制に移行しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34百万円（前年同四半期比36.6%減）、営業利益13百万円（前年同四半期比63.9%増）となりました。

<水宅配事業>

水宅配事業におきましては、当社保有のコールセンターを活用し、これまで培ったアウトバウンドコールのノウハウを生かし、積極的な顧客獲得を進める予定でございましたが、東日本大震災の影響により予想以上に「ウォーターサーバー」の供給が遅れ、新規顧客の獲得に支障が生じました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34百万円（前年同四半期比58.0%増）、営業損失25百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、コスメティクス販売事業の今後の積極的な広告宣伝に向け、販路の開拓、新商品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14百万円（前年同四半期比68.9%減）、営業損失8百万円（前年同四半期は営業利益4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は49億22百万円で、前連結会計年度末に比べ80百万円の増加となりました。主な増加は、現金及び預金の増加1億22百万円等であります。

負債は23億68百万円で、前連結会計年度末に比べ31百万円の増加となりました。主な増加は、長期借入金の増加1億21百万円等であり、主な減少は、未払法人税等の減少69百万円等であります。

純資産は25億54百万円で、前連結会計年度末に比べ48百万円の増加となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加92百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日の平成23年3月期決算発表時に公表をいたしました平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）を修正しております。

詳細については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904,159	1,027,119
受取手形及び売掛金	1,114,298	1,017,866
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	712,144	825,504
その他	521,903	525,725
貸倒引当金	△4,980	△4,630
流動資産合計	3,347,525	3,491,585
固定資産		
有形固定資産	108,358	144,901
無形固定資産		
のれん	415,286	411,554
その他	3,498	3,320
無形固定資産合計	418,785	414,874
投資その他の資産		
差入保証金	641,871	653,888
その他	365,421	257,121
貸倒引当金	△39,694	△39,721
投資その他の資産合計	967,597	871,288
固定資産合計	1,494,741	1,431,064
資産合計	4,842,267	4,922,649
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,133,546	1,097,746
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	62,000	90,648
未払法人税等	156,753	87,697
その他	362,293	351,186
流動負債合計	2,214,593	2,127,278
固定負債		
長期借入金	46,000	167,352
その他	76,047	73,530
固定負債合計	122,047	240,882
負債合計	2,336,641	2,368,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,753	527,753
資本剰余金	487,355	487,355
利益剰余金	1,742,558	1,790,954
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,506,903	2,555,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,278	△810
その他の包括利益累計額合計	△1,278	△810
純資産合計	2,505,625	2,554,489
負債純資産合計	4,842,267	4,922,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	10,207,458	10,558,351
売上原価	8,904,679	9,338,173
売上総利益	1,302,778	1,220,177
販売費及び一般管理費	1,081,337	1,044,612
営業利益	221,440	175,565
営業外収益		
受取利息	2,249	2,262
受取手数料	1,145	1,759
助成金収入	3,766	2,131
債務勘定整理益	1,950	—
還付加算金	391	27
その他	871	936
営業外収益合計	10,375	7,116
営業外費用		
支払利息	6,902	3,809
その他	119	34
営業外費用合計	7,021	3,844
経常利益	224,795	178,837
特別利益		
事業譲渡益	88,000	22,278
受取和解金	24,000	—
特別利益合計	112,000	22,278
特別損失		
減損損失	—	3,947
固定資産除却損	791	6,873
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,519	—
特別損失合計	9,310	10,821
税金等調整前四半期純利益	327,484	190,293
法人税、住民税及び事業税	138,773	86,573
法人税等調整額	18,211	12,003
法人税等合計	156,985	98,577
少数株主損益調整前四半期純利益	170,499	91,716
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,339	△1,000
四半期純利益	167,160	92,716

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	170,499	91,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	468
その他の包括利益合計	47	468
四半期包括利益	170,547	92,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,207	93,184
少数株主に係る四半期包括利益	3,339	△1,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	327,484	190,293
減価償却費	15,943	13,113
のれん償却額	55,909	83,044
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,028	△324
引当金の増減額 (△は減少)	4,500	—
受取利息及び受取配当金	△2,250	△2,262
支払利息	6,902	3,809
固定資産除却損	791	6,873
事業譲渡損益 (△は益)	△88,000	△22,278
和解金	△24,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,519	—
売上債権の増減額 (△は増加)	207,678	96,366
たな卸資産の増減額 (△は増加)	139,028	△119,871
仕入債務の増減額 (△は減少)	△296,645	△35,800
その他	30,346	△18,592
小計	387,237	194,373
利息及び配当金の受取額	1,778	2,596
利息の支払額	△6,803	△4,083
和解金の受取額	8,339	819
法人税等の支払額	△163,763	△155,703
法人税等の還付額	7,409	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,198	38,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,864	△53,539
有形固定資産の売却による収入	7,900	2
事業譲受による支出	△75,000	△80,000
事業譲渡による収入	50,000	11,500
投資有価証券の取得による支出	△101,100	—
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
定期預金の預入による支出	△5,000	—
定期預金の払戻による収入	5,000	—
差入保証金の差入による支出	△36,049	—
差入保証金の回収による収入	7,752	—
その他	△840	1,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,201	△20,380

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	—
長期借入れによる収入	80,886	200,000
長期借入金の返済による支出	△109,554	△50,000
株式の発行による収入	150	—
配当金の支払額	△42,592	△44,104
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	—	1,000
リース債務の返済による支出	△1,531	△1,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,641	105,339
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33,355	122,960
現金及び現金同等物の期首残高	1,443,081	1,004,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476,436	1,127,119

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	人材事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,635,889	3,037,186	54,068	412,244	68,068	10,207,458	—	10,207,458
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	288	1,968	—	—	—	2,256	(2,256)	—
計	6,636,177	3,039,154	54,068	412,244	68,068	10,209,714	(2,256)	10,207,458
セグメント利益 又は損失(△)	150,760	53,905	7,938	10,796	△1,959	221,440	—	221,440

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,467,571	3,008,036	34,288	34,032	14,420	10,558,351	—	10,558,351
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	318	1,414	—	—	36	1,769	(1,769)	—
計	7,467,890	3,009,451	34,288	34,032	14,456	10,560,120	(1,769)	10,558,351
セグメント利益 又は損失(△)	145,015	52,397	13,007	△25,855	△8,999	175,565	—	175,565

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「IT事業」、「人材事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「IT事業」、「水宅配事業」、「その他事業」の5つに変更しております。この変更は、人材事業を営むアルファテクノロジー(株)の株式を売却し、前連結会計年度より同社が連結の範囲から除外されたことによるものと、「水宅配事業」について、同事業セグメントの重要性が増したことから、第1四半期連結累計期間より、「水宅配事業」を新たな報告セグメントとしたことによるものであります。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分表示により作成した報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りであります。

	報告セグメント							調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	人材事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高									
外部顧客への 売上高	6,635,889	3,037,186	54,068	412,244	21,540	46,527	10,207,458	—	10,207,458
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	288	1,968	—	—	—	—	2,256	(2,256)	—
計	6,636,177	3,039,154	54,068	412,244	21,540	46,527	10,209,714	(2,256)	10,207,458
セグメント利益 又は損失 (△)	150,760	53,905	7,938	10,796	△6,110	4,150	221,440	—	221,440

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。